

事務事業名		決算審査・出納検査事業		会計		一般会計		事業種別		経常		開始		S30		終了			
課等名		監査委員事務局		係等名		監査係													
基本計画上の位置づけ		政策		9		市民と共に進める行政経営													
		施策		94		効率的、効果的な行財政運営													
目的	対象(誰・何を)	・会計管理者、企業管理者及び広域連合会計管理者が保管する現金 ・会計証拠書類(伝票、台帳等)										指標名及び単位		24年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	・現金の出納事務及び会計帳簿等が正確に処理され、 確実な方法で保管されている。 ・支払事務が適正に執行されている。										会計証拠書類の数(伝票枚数)		99100					
	向上させたい上位施策の成果指標	市役所を信頼できると感じている市民の割合(%)										対象指標							
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)									
	成果指標	会計伝票類の検査の実施月数				12	12	12	12	伝票検査による監査委員からの照会事項の減少が望まれる									
	成果指標	決算審査実施件数(会計数)				43	43	43	43	※南信州広域連合会計含む									
	定性目標	例月出納検査及び会計伝票検査は、適正予算執行の観点から毎月実施し、必要に応じて内容確認を行う。 決算審査等は、審査依頼を受けて決算係数等の確認を行う。																	
事業概要	<p>1 例月出納検査:毎月、一般会計及び特別会計並びに病院事業及び水道事業会計を対象に出納検査を実施する。 ・監査委員による面接検査を四半期に1回実施する。面接検査では、納税課より市税等、建設管理課より住宅使用料等、子育て支援課より保育料等の納入状況の説明を受ける。 ・指定金融機関の残高証明書は、年1回提出とし、5月末日(企業会計は3月末日)のものを該当金融機関の全てに提出させる。</p> <p>2 会計伝票類の検査:会計伝票類の検査の精度を維持し、不適切なものについて改善を促す。(毎月実施)</p> <p>3 決算審査:審査に付された前年度決算書の計数の確認をし、会計事務処理手続きが適正かを審査する。</p> <p>4 財政健全化審査及び経営健全化審査</p>																		
	事業内容						名称						活動指標						
	24年度事業内容	1 例月出納検査 (南信州広域連合の検査は市に準じて実施)						1 面接検査回数 書類検査回数 検査対象会計数						1 4回 8回 35件					
		2 会計伝票検査 (南信州広域連合の検査は市に準じて実施)						2 検査実施月数 検査伝票数 照会回答数						2 12月 4464件 83件					
		3 決算審査 (南信州広域連合の審査は市に準じて実施)						3 審査対象会計数 面接審査部署数						3 33件 35件					
4 財政健全化審査及び経営健全化審査						4 審査対象数						4 10件							
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足													
事業費計(千円)①		1,706	1,706	1,706	1,706														
国庫支出金																			
県支出金																			
起債																			
その他																			
一般財源		1,706	1,706	1,706	1,706														
人件費計(千円)②		9,442		9,442															
正規職員所要時間		2,400		2,400															
臨時職員所要時間		800		800															
総事業費①+②		11,148	1,706	11,148	1,706														
事業内容・目標達成状況の振り返り		・計画したとおり、検査等が実施できた。																	
改革改善の考え方	①問題点	・会計事務処理の適正化 ・決算審査報告書と決算書との掲載内容の重複																	
	②改革提案	・出納検査及び会計伝票検査は改善に向けて継続する。 ・決算審査意見書は、掲載内容を精査する。																	